

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

愛玩動物看護師学科

授業科目 (科目ID)	生命倫理・動物福祉	担当教員  (実務経験)	今木 康彦  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	1年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。				
到達目標	生命倫理の概念を把握し、動物福祉(愛玩動物、産業動物、実験動物、展示動物)を理解する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ4巻 動物看護学概論 / 人と動物の関係学 / 生命倫理・動物福祉				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価テスト:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	生命倫理の概念 1	生命倫理の概念とさまざまな動物観		
	2	生命倫理の概念 2	生命倫理の概念とさまざまな動物観		
	3	動物福祉 1	動物福祉の概念		
	4	動物福祉 2	動物福祉の概念		
	5	動物福祉 3	動物福祉の評価		
	6	動物福祉 4	動物福祉と社会、小テスト		
	7	愛玩動物 1	愛玩動物の現状		
	8	愛玩動物 2	福祉上の問題		
	9	愛玩動物 3	愛玩動物福祉のための対策、小テスト		
	10	産業動物 1	産業動物の福祉		
	11	産業動物 2	産業動物の福祉		
	12	実験動物 1	実験動物の福祉		
	13	実験動物 2	実験動物の福祉、小テスト		
	14	野生・展示動物 1	野生・展示動物の福祉		
15	野生・展示動物 2	野生・展示動物の福祉			

授業科目 (科目ID)	動物形態機能学	担当教員  (実務経験)	岩崎 忍  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	1年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。				
到達目標	生命のすがた、運動器と皮膚を理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ1巻 動物形態機能学/動物繁殖学				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	生命のすがた 1	体の基本構造と基本物質		
	2	生命のすがた 2	器官と組織		
	3	生命のすがた 3	動細胞のしくみと構造		
	4	生命のすがた 4	DNAの働き		
	5	運動器 1	骨格の構成、小テスト		
	6	運動器 2	骨の形状と構造		
	7	運動器 3	骨格系の分類		
	8	運動器 4	骨格系の分類		
	9	運動器 5	関節の構造と働き		
	10	運動器 6	筋肉の構造と働き		
	11	運動器 7	筋肉の分類		
	12	運動器 8	各部筋肉、小テスト		
	13	外皮系 1	皮膚の構造		
	14	外皮系 2	皮膚の付属器官		
15	外皮系 3	皮膚の働き、小テスト			

授業科目 (科目ID)	動物形態機能学		担当教員  (実務経験)	岩崎 忍  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的变化について学ぶ基盤を確立する。				
到達目標	消化器と栄養の関わり、呼吸器とその調節、血液と造血管について理解する。				
テキスト・参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ1巻 動物形態機能学/動物繁殖学				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	消化器と栄養代謝 1	消化器の構造		
	2	消化器と栄養代謝 2	消化器の機能		
	3	消化器と栄養代謝 3	唾液腺と膵臓の構造と機能		
	4	消化器と栄養代謝 4	肝臓の構造と機能		
	5	消化器と栄養代謝 5	消化と吸収の仕組みと栄養素の代謝、小テスト		
	6	呼吸器とその調節 1	呼吸器の構造		
	7	呼吸器とその調節 2	換気とガス交換		
	8	呼吸器とその調節 3	酸素と二酸化炭素の運搬		
	9	呼吸器とその調節 4	呼吸運動の調節機能、小テスト		
	10	血液と造血管 1	血球成分と血漿成分		
	11	血液と造血管 2	赤血球の構造と機能		
	12	血液と造血管 3	白血球の構造と機能		
	13	血液と造血管 4	血小板の構造と機能、血液凝固機構と繊維素溶解		
	14	血液と造血管 5	自然免疫		
15	血液と造血管 6	獲得免疫、小テスト			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

愛玩動物看護師学科

授業科目 (科目ID)	動物行動学	担当教員  (実務経験)	長谷川 満  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 訓練士		
対象年次・学期	1年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	犬や猫の種としての行動様式を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。				
到達目標	個体維持行動や発達過程と社会行動、学習理論や問題行動、その治療方法を理解する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ6巻 動物行動学 / 愛玩動物学 / 比較動物学				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価テスト:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	行動学の基礎 1	4つの問いと歴史		
	2	行動学の基礎 2	行動の種類と制御		
	3	個体維持行動	犬と猫の維持行動		
	4	発達過程と社会行動 1	発達ステージと生殖行動		
	5	発達過程と社会行動 2	社会行動		
	6	学習理論 1	社会行動、小テスト		
	7	学習理論 2	馴化と感作		
	8	学習理論 3	古典的条件付けとオペラント条件付け		
	9	問題行動 1	問題行動の定義と要因		
	10	問題行動 2	問題行動の種類		
	11	問題行動 3	問題行動の種類		
	12	問題行動 4	問題行動の種類、小テスト		
	13	行動治療 1	行動診療の進め方		
	14	行動治療 2	行動修正法と環境修正法		
15	行動治療 3	行動治療における薬物療法、小テスト			

授業科目 (科目ID)	動物内科看護学	担当教員  (実務経験)	今木 康彦  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	1年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像判断に必要な検査、所見の記録等について理解する。				
到達目標	動物の健康保持、衛生・安全管理、対動物に関する技術や投薬に関わる技術を理解する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ7巻 動物内科看護学 / 動物臨床検査学				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	動物看護コアテキスト第5巻 動物看護の基礎				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	動物の健康保持 1	入院動物の日常管理と注意点		
	2	動物の健康保持 2	ワクチネーション		
	3	動物の健康保持 3	外部寄生虫の確認		
	4	動物の健康保持 4	幼若・高齢動物の入院管理		
	5	動物の健康保持 5	身体検査、アセスメント		
	6	動物の健康保持 6	身体検査、アセスメント、小テスト		
	7	衛生・安全管理と環境整備 1	感染と対策方法		
	8	衛生・安全管理と環境整備 2	環境管理		
	9	対動物関係の技術 1	アプローチ法とハンドリング		
	10	対動物関係の技術 2	保定法と電法		
	11	対動物関係の技術 3	保定法と電法、小テスト		
	12	投薬に関わる技術 1	投薬の基本		
	13	投薬に関わる技術 2	各剤形の取り扱い		
	14	投薬に関わる技術 3	内服、外服薬の使用法		
15	投薬に関わる技術 4	内服、外服薬の使用法、小テスト			

2023年度

吉田学園動物看護専門学校

愛玩動物看護師学科

授業科目 (科目ID)	動物臨床看護学総論		担当教員  (実務経験)	前鼻 彰人  動物病院	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。				
到達目標	動物看護業務(動物看護過程、診療記録等)やターミナルケアに関わる技術を修得する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ9巻 動物臨床看護学総論 / 動物臨床看護学各論				
評価方法・ 評価基準		評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	動物看護過程の展開 1	動物看護過程とは何か		
	2	動物看護過程の展開 2	動物看護過程における5つの構成要素		
	3	動物看護過程の展開 3	アセスメント		
	4	動物看護過程の展開 4	問題の明確化(看護診断)		
	5	動物看護過程の展開 5	動物看護計画		
	6	動物看護過程の展開 6	動物看護過程の実施と評価について、小テスト		
	7	動物看護業務 1	診療記録(カルテ)の作成方法		
	8	動物看護業務 2	動物看護記録の作成方法		
	9	動物看護業務 3	チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割、小テスト		
	10	動物看護業務 4	クリティカルパス、事故管理		
	11	動物看護業務 5	若齢動物看護の特徴		
	12	動物看護業務 6	高齢動物看護の特徴		
	13	ターミナルケア 1	グリーフとベトロス ・ 小テスト		
	14	ターミナルケア 2	ターミナルケアの目的		
15	ターミナルケア 3	ターミナルケアの方法・実践			

授業科目 (科目ID)	動物臨床看護学各論		担当教員  (実務経験)	岩崎 忍  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。				
到達目標	疾患の徴候や病態を把握し、神経系疾患や筋・骨格的、整形外科疾患について理解する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ9巻 動物臨床看護学総論 / 動物臨床看護学各論				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	徴候や疾患の理解と対処 1	代表的な徴候や病態、疾患に関して		
	2	徴候や疾患の理解と対処 2	徴候、病態の援助について		
	3	代表的な徴候 1	全身徴候と特異的徴候		
	4	代表的な徴候 2	特異的病態、小テスト		
	5	筋骨格系、整形外科系疾患 1	跛行、膝蓋骨脱臼		
	6	筋骨格系、整形外科系疾患 2	前十字・後十字靭帯断裂		
	7	筋骨格系、整形外科系疾患 3	骨折、骨腫瘍		
	8	筋骨格系、整形外科系疾患 4	股関節形成不全		
	9	筋骨格系、整形外科系疾患 5	レッグヘルテス		
	10	筋骨格系、整形外科系疾患 6	その他の整形外科系疾患、小テスト		
	11	皮膚科疾患 1	体質、細菌感染による皮膚疾患		
	12	皮膚科疾患 2	真菌感染による皮膚疾患		
	13	皮膚科疾患 3	寄生虫感染による皮膚疾患		
	14	皮膚科疾患 4	アトピー、アレルギーによる皮膚疾患		
15	皮膚科疾患 5	自己免疫関連皮膚疾患、小テスト			

授業科目 (科目ID)	動物臨床検査学	担当教員  (実務経験)	今木 康彦  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 動物病院		
対象年次・学期	1年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。				
到達目標	血液検査、糞尿検査、細胞診と遺伝子検査に関して理解する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ7巻 動物内科看護学 / 動物臨床検査学				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	臨床検査概論 1	臨床検査の基礎		
	2	臨床検査概論 2	臨床検査の基礎		
	3	糞便検査 1	虫卵・原虫の検出方法		
	4	糞便検査 2	細菌の観察方法		
	5	尿検査 1	尿の性状の理解		
	6	尿検査 2	尿沈渣の理解、小テスト		
	7	血液検査 1	血漿、血清の分離法		
	8	血液検査 2	全血球検査法(CBC)		
	9	血液検査 3	血液塗抹		
	10	血液検査 4	ヘマトクリット官を用いた検査		
	11	血液検査 5	その他の血液系に関わる検査、小テスト		
	12	細胞診と病理組織検査 1	細胞診断の基礎		
	13	細胞診と病理組織検査 2	組織検査のための検体の取り扱い		
	14	遺伝子検査 1	遺伝子検査の基礎		
15	遺伝子検査 2	遺伝子検査のための検体の取り扱い、小テスト			



授業科目 (科目ID)	愛玩動物学		担当教員  (実務経験)	佐藤 真帆  動物病院	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。				
到達目標	犬、猫、ウサギの歴史、品種、特徴、適切な飼養管理、体調管理を理解する。				
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ6巻 動物行動学 / 愛玩動物学 / 比較動物学				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	歴史と品種 1	犬の歴史		
	2	歴史と品種 2	代表的な品種		
	3	歴史と品種 3	代表的な品種		
	4	歴史と品種 4	代表的な品種		
	5	愛玩動物の飼養管理 1	犬の適切な飼養管理、小テスト		
	6	歴史と品種 5	猫の歴史		
	7	歴史と品種 6	代表的な品種		
	8	歴史と品種 7	代表的な品種		
	9	愛玩動物の飼養管理 2	猫の適切な飼養管理、小テスト		
	10	血統	血統と血統書、小テスト		
	11	使役動物	身体障害者補助犬とその他の使役犬		
	12	エキゾチックアニマル ウサギ 1	ウサギの品種と特徴		
	13	エキゾチックアニマル ウサギ 2	ウサギの生態		
	14	エキゾチックアニマル ウサギ 3	ウサギの適切な飼養管理		
15	エキゾチックアニマル ウサギ 4	ウサギの体調管理、小テスト			

授業科目 (科目ID)	愛玩動物学		担当教員	佐藤 真帆		
			(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	動物病院	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。					
到達目標	様々なエキゾチックアニマルの歴史、品種、特徴、適切な飼養管理、体調管理と動物の基本的な取り扱いを理解する。					
テキスト・ 参考図書等	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ6巻 動物行動学 / 愛玩動物学 / 比較動物学					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	70%	評価試験:70% 小テスト:30%			
	レポート	%				
	小テスト	30%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項						
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	エキゾチックアニマル ハムスター 1	ハムスターの品種と生態、特徴			
	2	エキゾチックアニマル ハムスター 2	ハムスターの適切な飼養管理			
	3	エキゾチックアニマル ハムスター 3	ハムスターの適切な体調管理			
	4	エキゾチックアニマル モルモット 1	モルモットの品種と生態、特徴			
	5	エキゾチックアニマル モルモット 2	モルモットの適切な飼養管理			
	6	エキゾチックアニマル モルモット 3	モルモットの適切な体調管理、小テスト			
	7	エキゾチックアニマル フェレット 1	フェレットの品種と生態、特徴			
	8	エキゾチックアニマル フェレット 2	フェレットの飼養管理と体調管理			
	9	エキゾチックアニマル 鳥類 1	鳥類の品種と生態、特徴			
	10	エキゾチックアニマル 鳥類 2	鳥類の飼養管理と体調管理、小テスト			
	11	エキゾチックアニマル その他動物 1	品種と生態、特徴			
	12	エキゾチックアニマル その他動物 2	飼養管理と体調管理			
	13	動物の基本的な取り扱い 1	動物のケアの方法			
	14	動物の基本的な取り扱い 2	ストレスの緩和方法、小テスト			
15	見学実習 1	盲導犬協会				